

取扱説明書

ZETA フロントフォーク ボトムアジャスター

この度は、ZETA商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品を正しくお使いいただくために、この説明書をよくお読みになって、取付作業を行って下さい。

注意事項

取り付けには専門の知識と技術が必要です。不用意に作業を行うと思わぬ事故や故障の原因となります。作業内容に不安がある場合は、弊社もしくはサスペンションプロショップにご相談、ご依頼ください。

サスペンションの車体からの取り外し・取り付け、本体の分解・組立て作業は各車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照し作業を行って下さい。

異常が認められた場合は作業を中断し、弊社までお問合せ下さい。

製品に加工、改造は行わないで下さい。事故や破損の原因となります。

作業時は保護メガネ等を使用し、ケガのないように注意してください。

取付方法

作業手順

- 1) 車体からフロントフォークを取り外します。
- 2) 純正アジャスターを取り外す前に、マイナスドライバーを使用し現在のアジャスターのクリック段数を記録します。

※時計回しに締め込み、止まる位置まで何クリックあるか（一番締め込んだ位置から何クリックだったのか）を記録する。

- 3) アクスルブラケットから純正アジャスターを取り外します。〈☆〉

- 4) アクスルブラケットを押し下げ、飛び出したロックナットの下にフォークキャップレンチのロッドストッパーを差し込み固定します。〈☆〉

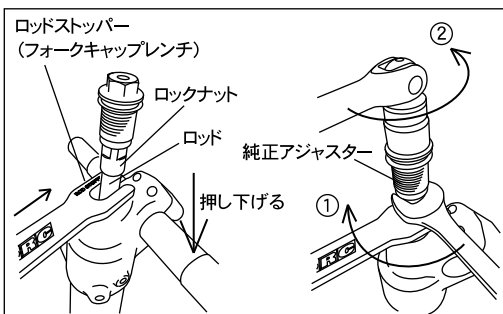
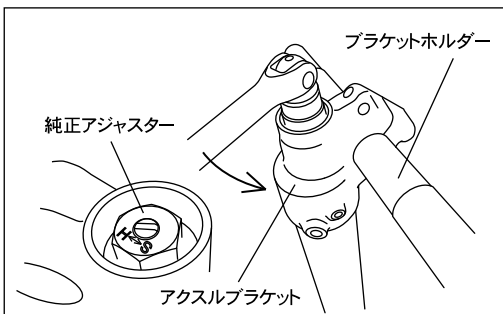
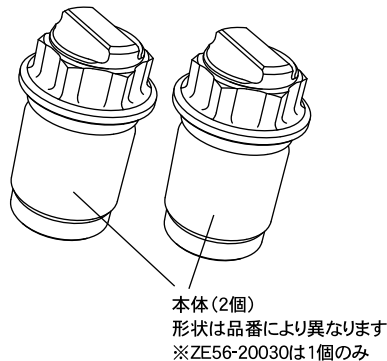
※WPIは固定不要です。

＜参考＞DRC PRO フォークキャップレンチ
品番：D59-37-170 (KYB)
D59-37-171 (SHOWA)

- 5) ① ロックナットを緩め、② 純正アジャスターをロッドから取り外します。

- 6) ロックナットが一番下まで下がっているか確認します。下がっていない場合は、一度アクスルブラケットを押し下げ、ロックナットを一番下まで下ろします。

キット内容



〈☆〉印の作業はブラケットホルダーを使用するとスムーズに作業ができます。
バイスが無い場所でも作業が可能です。

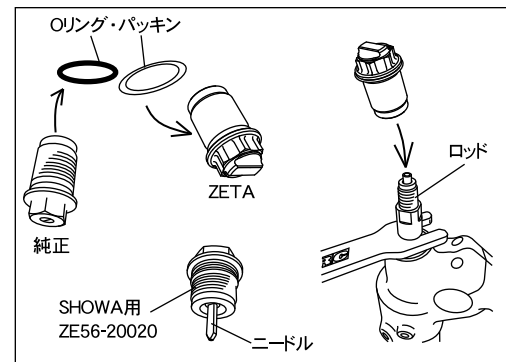
＜参考＞enzo/DRC ブラケットホルダー
品番：ED59-37-240

- 7) 取り外した純正アジャスターからパッキン・OリングをZETAボトムアジャスターに移植します。

- 8) ZETAボトムアジャスターをロッドに取り付けます。

※SHOWA用はニードル先端を差し込む相手（プッシュロッド）の形状に合うように取り付けること。

※ロッドに取り付ける際、手締めにて必ず止まる位置まで締め付けること。



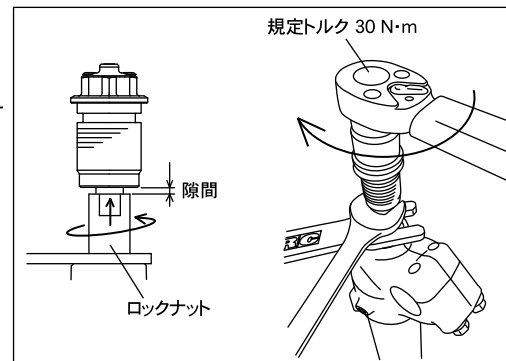
- 9) アジャスターを止まるまで締め付けたら、ロックナットとの間に隙間があることを必ず確認してください。

※アジャスターをロッドに締め付け終わる前にロックナットに当たってしまうと、組立後にフォークの全長が変わってしまう場合があります。

- 10) スパナを使用し、ロックナットをアジャスターに当たるまで締め付けます。

- 11) アジャスターにトルクレンチを掛け、規定トルクにて締め付けます。

※規定トルク：30 N・m



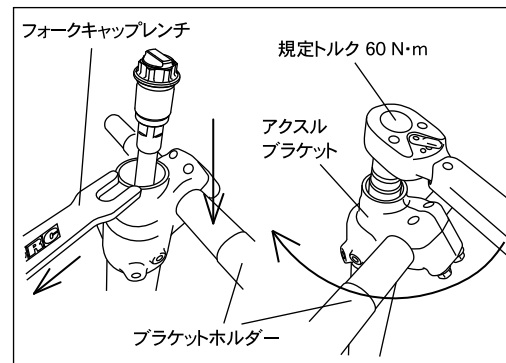
- 12) アクスルブラケットを押し下げ、フォークキャップレンチを外します。〈☆〉

- 13) アジャスターをアクスルブラケットに規定トルクにて締め付けます。〈☆〉

※規定トルク：60 N・m

- 14) 下記の図を参考に、分解前に記録したクリック位置にダイヤルを合わせます。

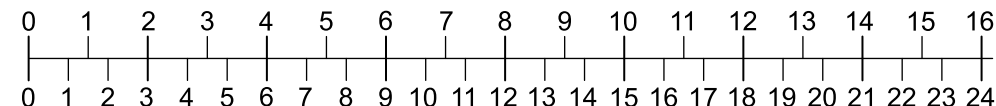
- 15) フロントフォークを車体に取り付けます。



一 クリック位置調整 一

本品は、細かい調整ができるようにダイヤル1周でクリック段数を6段に設定しています。純正アジャスターのクリック段数が1周で4段の場合は、下記の表を参考に分解前に記録したクリック段数と近い位置にダイヤルを調整してください。（WP用ZE56-20030）はクリック段数を純正と同じ8段に設定しているので、同じ位置に調整してください）

＜4クリックの場合＞



＜6クリックの場合＞

